

2005年度 第2回
防火本委員会議事録（案）

記録担当 事務局

- A. 日時 2005年9月30日（金） 15:00～16:30
B. 場所 建築会館会議室
C. 出席者 委員長 室崎益輝
幹事 上原茂男
委員 安部武雄 池田憲一 大内富夫 大宮喜文 笠原 勲
古平章夫 佐藤博臣 関沢 愛 高橋 太 原田和典
森山修治 山田常圭 吉田正友

（敬称略、順不同）
（事務局）

D. 提出資料

- 資料No.2-1 中越震災に関する総合研究協議会および提言素案
資料No.2-2 2006年度開始特別研究委員会設置提案募集要領
資料No.2-3 竹中育英会建築研究助成金交付者一覧
資料No.2-4 予算配分方法
資料No.2-5 「日本建築学会における研究と技術開発の活性化戦略（2002報告書）
アクションプランの実施状況
資料No.2-6 2005年度委員会活動成果報告会
資料No.2-7 2005年度学術大会研究協議会・パネルディスカッション
等配付資料のデジタル原文サービスについて
資料No.2-8 2006年日本建築学会大賞業績候補の推薦方依頼
資料No.2-9 2006年日本建築学会文化賞候補業績の推薦依頼
資料No.2-10 卒業論文等顕彰事業委員会委員のご推薦方のお願い
資料No.2-11 催し物企画
資料No.2-12 WG設置申請
（別途資料）防火委員会関係ホームページ開設状況

* 前回議事録の確認

前回議事録を確認のうえ承認された。

1. 中越震災に関する総合研究協議会および提言素案（資料No.2-1）

標記提言について学術推進委員会で検討のうえ次回の理事会へ提出することが報告された。

2. 2006年度開始特別研究委員会設置提案募集要領（資料No.2-2）

特別研究委員会の設置提案について報告された。提案する委員会は11月15日までに提出いただく。

3. 竹中育英会建築研究助成金交付者一覧 (資料No.2-3)

第44回(2005年度)の竹中育英会助成交付者の報告があった。

4. 予算配分方法 (資料No.2-4)

室崎委員長から各調査研究委員会の予算配分方法について説明があり、2006年度の予算配分方法は今年度の配分方法を踏襲することが報告された。

5. 「日本建築学会における研究と技術開発の活性化戦略(2002報告書)アクションプランの実施状況 (資料No.2-5)

資料に基づき標記アクションプランの実施状況の報告があった。

6. 2005年度委員会活動成果報告会 (資料No.2-6)

標記報告会について以下の基本方針案が報告された。次回の学術推進委員会で決定する。

- ・今年度の委員会活動報告会は3月総会(3月17日(金))の午前に設定する。
- ・出席者は学術推進委員会委員、代議員、および会員とする。
- ・今年度は約半数の委員会の報告とし、各委員会は2年に1回程度の割合で報告する。
- ・特別研究委員会はこの報告会から外し、別の機会に報告する。

7. 2005年度学術大会研究協議会・パネルディスカッション等配付資料のデジタル原文サービスについて (資料No.2-7)

室崎委員長から資料に基づき以下の説明があった。

情報委員会から会長の所信表明にもあるとおり会員への情報サービス向上の一環として、今年度以降の大会研究資料を大会終了後に学会ホームページを通じて会員に無償で提供することを検討中であり、今年度は試行として行うこととし関係委員会の意見を伺いながら方向性を検討されている。また、情報委員会から各調査研究委員会へアンケート調査の依頼があった。情報委員会では意見とアンケートの回答を以下とした。

<アンケートの回答と意見>

- ・本年度学術大会にて貴委員会が作成された標記資料について、デジタル原文サービス提供の有無についてご回答ください。(○をお付けください)
→ ② 調査用紙 B で認めた資料のみ、サービスの対象とする。
- ・意見
→ デジタルサービスについて委員会に負担が掛からないようにする。

現時点では以上の回答として、締切時期に新たな意見があれば提案いただくこととした。

8. 2006年日本建築学会大賞業績候補の推薦方依頼 (資料No.2-8)

- ・2005年日本建築学会大賞業績候補の推薦について審議した結果、斎藤 光君を推薦する予定として、他に候補者がいれば次回の本委員会までにご提案いただくこととした。

9. 2006年日本建築学会文化賞候補業績の推薦依頼 (資料No.2-9)

- ・2005年日本建築学会文化賞業績候補の推薦について意見交換した結果、木下 孝一君(伝統木造建築の防災性能の再評価に向けた職人・設計者・研究者の研究体制づくりを主導した功績)を推薦する予定とする。他に候補者がいれば次回の本委員会までにご提案いただくこととした。

10. 卒業論文等顕彰事業委員会委員のご推薦方のお願い (資料No.2-10)

- ・卒業論文等顕彰事業委員会委員として山田常圭君を推薦することとした。

11. 催し物企画 (資料No.2-11)

防火技術職能検討WG(本委員会直轄)主催のシンポジウム「防火技術者は日本ではどうあるべきか?」の企画提案があり、承認された。

12. WG設置申請 (資料No.2-12)

原田委員から火災安全設計小委員会の傘下に、以下の3WGの設置申請について説明があり、承認した。

- ・性能設計ケーススタディーWG
- ・火災荷重WG
- ・設計火災性状WG

13. 防火委員会関係ホームページ開設状況 (別途資料)

上原幹事から防火委員会のホームページについて、現在の開設状況について報告があった。今後の検討課題は、各小委員会で現状のホームページの状況を確認いただき、今後のホームページの運営について検討いただく。

防火本委員会終了後、「ジェフ・トーマス博士による講演会」を実施した。

次回委員会：12月16日(金) 15時